

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	賑わい創出拠点やまじゅう	所在地	大字須坂197・202-2ほか				
施設分類	産業系施設	所管課	商業観光課				
財産区分	行政財産	延床面積 (m ²)	517.45				
居住誘導区域	該当	防災関連施設	非該当				
設置根拠	須坂市賑わい創出拠点 やまじゅう条例	設置の目的・経緯	産業の振興、地域の交流と賑わい創出する拠点	交通アクセス	長野電鉄須坂駅から徒歩 20分 須坂市民バス 芝宮バス停 から徒歩5分		
事業内容	施設利用許可・管理	貸付の有無	有	飲食店スペース・店舗スペース1・交流スペース・屋外オープンスペース			
管理運営の状況	指定管理	委託内容	施設利用許可・維持管理・利用料徴収				
備考 (その他特記事項)	須坂市歴史的建造物指定、重伝建エリア内						

2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上	2	地下	－	建築面積 (m ²)		延床面積 (m ²)	517.45		
構造 (主たる建物)	木造			建築年度 (主たる建物)	1899 (取得 2001、 2021)	築年数 (主たる建物)	125			
取得価格	56,287,400			耐震化の状況		耐震診断未実施				
帳簿原価	56,287,400			バリアフリー対応		－				
減価償却累計額	5,378,100			省エネルギーの対応状況		照明器具LED化				
老朽化率	10%			施設の劣化状況		未改修部分あり				

3 施設コスト

単位（千円）

費用		2022	2023	2024	3年間の平均値
	人件費				
	委託料				
	光熱水費				
	維持補修費	2,087	0	199	762
	減価償却費	2,336	2,364	2,364	2,355
	指定管理料	5,530	8,374	8,108	7,337
	その他	91	0	27	39
費用合計		10,044	10,738	10,698	10,493

収入	利用料等収入			
	国庫補助金等収入			
	その他			
収入合計		0	0	0

収支	-10,044	-10,738	-10,698	-10,493
利用者一人当たりコスト	3.04	0.90	1.53	1.42

修繕履歴	金額	36,000	内容	2021年度 内装・設備等
	金額	2,087	内容	2022年度 壁、屋根一部
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用	未利用未整備部分改修3,000万円以上			

4 施設利用状況

利用対象	店舗目的・店舗目的以外利用	
開館時間	平日	店舗：午前9時～午後11時ほか 店舗以外：午前9時～午後10時ほか
	休日	
休館日	なし	
駐車場の有無	有り：契約駐車場	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	3,302	11,881	6,976	7,386	-6%
年間利用可能人数					
利用率					
(参考) 年間目標利用人数					
年間利用時間					
年間利用可能時間					
稼働率					

公共施設評価結果シート

施設名	施設名称	賑わい創出拠点やまじゅう
-----	------	--------------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	D	-1	他施設と比較して多い (150%以上200%未満)
	合計	-1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない (50%未満)
	B	1	平均と比較して少ない (50%以上100%未満)
	C	0	平均と比較し同規模 (100%以上150%未満)
	D	-1	他施設と比較して多い (150%以上200%未満)
	E	-2	他施設と比較してかなり多い (200%以上)

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った (-5%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
			過去3か年平均が10%未満
	合計	0	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた (10%以上)
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた (0%以上)
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った (-5%以上)
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った (-10%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
耐震性能	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
バリアフリー	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	D	-2	必要な改修が行われていない
	合計	-3	

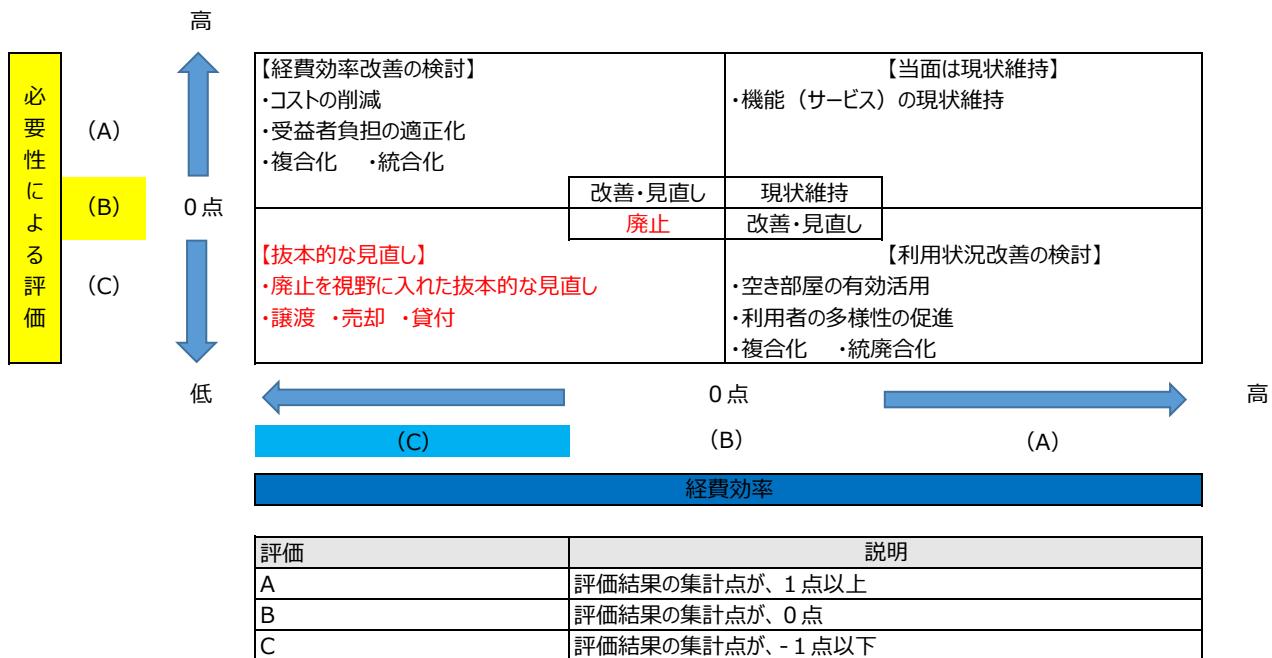
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	-1
縦軸	必要性による評価	0
	合計点数	-1

【抜本的な見直し】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	-3
縦軸	必要性と経費効率からの評価	-1
	合計点数	-4

【抜本的な見直し】

